

- 管内 上川管内
- 分類 防犯教室 安全マップ 不審者対応訓練 その他()
- 教育課程 教科()科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校(低) 小学校(中) 小学校(高) 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 児童及び教職員の防犯意識の向上に向け、警察署と連携し、不審者侵入事故を想定した対応訓練の実施
- 危機管理体制の構築に向けて、警察官を講師とした教職員の研修会の実施

取組の実際

ねらい

- 具体的な場面を想定した対応訓練を実施し、児童の防犯意識を高める。
- 警察署と連携した安全教育に係る教職員の研修会を実施し、危機管理体制の構築につなげるとともに、防犯指導の充実を図る。

内容

1 不審者侵入事故を想定した対応訓練

- 警察官を講師として招き、不審者が学校敷地内に侵入したことを想定し、児童及び教職員を対象とした対応訓練を実施した。

<実施手順>

- ・ 休み時間に不審者が学校敷地内に侵入
- ・ 発見した教職員がワイヤレス式の警報ブザーを使い、職員室に報告
- ・ 職員室から警察署に通報
- ・ 教職員は、玄関を施錠し、不審者の校舎内への侵入を防止
- ・ 暗号放送により、教職員は全校児童を誘導しながら避難



【警察官による実演】

- 訓練後、警察官からの指導を基に、学校安全計画を見直すとともに、不審者侵入事故を想定した対応訓練の実施手順を修正した。修正箇所は、見え消し線で示し、反省点は、吹き出しに記入することで、日常の安全教育に生かすことができるようにした。

手順・時間	活動
①不審者の侵入 10:25	不審者がグラウンド周辺に侵入
②不審者の発見・対応 10:26	〇〇Tが不審者を発見→警報ブザーで職員室へ連絡
③本部設置・緊急放送 10:28	連絡を受け、教頭が不審者の様子を確認。校長に報告→緊急放送、110番通報

不審者確認後、すぐに110番通報できていた点はよかった。教職員は、児童を誘導しながら、体育館に全員避難することを優先する。

職員室にいる職員は不審者の対応へ
職員室にいる教職員3名は、さす又をもって児童玄関の施錠へ

【対応訓練の実施手順】

2 安全教育に係る教職員の研修会

- 訓練のマネリ化から脱却を図り、最新の状況に対応するため、不審者への対応について、警察官による研修を行うとともに、道外の安全教育の事例を教職員間で交流した。研修会を通して、不審者の早期発見及び連絡の徹底による侵入防止体制の確立について、教職員で共通理解を図ることができた。

成果と課題

- 対応訓練や教職員の研修会において、警察官からの助言を基に、不審者侵入事故を想定した危機管理体制の確立につなげることができた。
- 不審者への対応の手順や方法について、定期的に教職員間で確認する必要がある。